

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児神経生理学特論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻科	学期及び曜時限	後期 火曜日	教室名	1003教室
担当教員	鎌田 荘平				
実務経験とその関連資格	作業療法士として重症心身障害児・者施設で9年間勤務。 重症心身障害児・者施設で脳性麻痺を主とした肢体不自由児、神経発達障害群に対し関わる。 現在も定期的に臨床に携わる。				
《授業科目における学習内容》					
小児の神経生理学について学び、臨床での活用方法について検討することができる。					
《成績評価の方法と基準》					
レポート 80% 出席20%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
配布資料					
《授業外における学習方法》					
解剖・運動・生理学の基礎を理解することがとても重要です。基礎科目の復習をしておきましょう。					
《履修に当たっての留意点》					
言葉が難しいことも多いですが、一つ一つを理解し取り組みましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	視器の解剖生理について理解する	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う	
	各コマにおける授業予定	視器の解剖生理学①			
第2回	授業を通じての到達目標	視器の解剖生理について理解する	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う	
	各コマにおける授業予定	視器の解剖生理学②			
第3回	授業を通じての到達目標	視器の解剖生理について理解する	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う	
	各コマにおける授業予定	視器の解剖生理学③			
第4回	授業を通じての到達目標	小児の視機能発達について理解する	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う	
	各コマにおける授業予定	小児の視機能発達①			
第5回	授業を通じての到達目標	小児の視機能発達について理解する	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う	
	各コマにおける授業予定	小児の視機能発達②			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	小児の心身機能について理解することができる。	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	人間発達①		
第7回	授業を通じての到達目標	小児の心身機能について理解することができる。	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	人間発達②		
第8回	授業を通じての到達目標	小児の心身機能について理解することができる。	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	人間発達③		
第9回	授業を通じての到達目標	小児の心身機能について理解することができる。	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	人間発達④		
第10回	授業を通じての到達目標	小児の心身機能について理解することができる。	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	人間発達⑤		
第11回	授業を通じての到達目標	発達段階を通じてアプローチについて学ぶ	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	発生的アプローチ法		
第12回	授業を通じての到達目標	発達段階を通じてアプローチについて学ぶ	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	発生的アプローチ法		
第13回	授業を通じての到達目標	発達段階を通じてアプローチについて学ぶ	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	発生的アプローチ法		
第14回	授業を通じての到達目標	発達段階を通じてアプローチについて学ぶ	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	発生的アプローチ法		
第15回	授業を通じての到達目標	発達段階を通じてアプローチについて学ぶ	教科書、配布資料	授業資料を基に復習を行う
	各コマにおける授業予定	発生的アプローチ法		